



ヴィオラ
朝吹園子

ウィーン式コントラバス
菅間周子

バリトン
坂本龍右

ハイドンの主君エステルハージ侯が愛した楽器《バリトン》
 えもいわれぬ典雅な音色、まさに音のタイムカプセル

古楽が盛んなスイスで活躍する本格派

トリオ・シュタットルマン

バリトン、ヴィオラ、ウィーン式コントラバス

J.ハイドン:バリトン三重奏曲 第44番 二長調 / 第30番 ト長調
 第101番 八長調 / 第113番 二長調

L.トマジーニ:バリトン三重奏曲 二長調 他

2021年10月10日(日) 14:00開演 13:30開場 [全自由席] 一般2,500円 学生(対象:小学生以上25才以下の学生) 1,500円
ハーフ60(後半のみ観賞の当日券)

当面の間、感染対策のため座席定員を減らしての開催となります。(チャリティシートの設定はございません)
 中止・振替等が発生する場合がございます。最新の情報は宗次ホールホームページまたはお電話でお問い合わせください。

チケットのお求めは
8月8日(日)
 10時より販売開始

- 宗次ホールチケットセンター ① TEL:052 (265) 1718
- ② インターネット予約 →
- チケットぴあ TEL:0570 (02) 9999 [Pコード201-959]
- 名鉄ホールチケットセンター TEL:052 (561) 7755



くらしの中にクラシック
宗次ホール
 Munetsugu Hall
 名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
 www.munetsuguhall.com
 営業時間:10:00 ~ 16:00 不定休

※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。



Trio Stadlmann

トリオ・シュタットルマン

バーゼル音楽院で古楽器を学ぶ3人により2010年秋に結成される。アンサンブル名の由来はハイドンが使えたエステルハーゼ宮と深いかわりがあったシュタットルマン一族の楽器、あるいはそのコピー楽器を結成時に各メンバーが音楽院より貸与されていたことによる。以来バーゼルを中心に演奏活動を行う。2015年1月に日本・スイス国交樹立150周年記念行事の一環として、バーゼル音楽院協力のもと、全国6か所にて来日ツアー

公演を行う。レパートリーはJ.ハイドンのバリトン・トリオ作品を中心に、失われた作品の復元、ハイドンと同時代の知られざる作曲家たちによる音楽、さらには当時の流儀による即興音楽演奏にまで及ぶ。2016年からは東京雑司ヶ谷本浄寺内「拝鈍亭」（楽長：鈴木秀美）のレジデンスアーティストとしてJ.ハイドン作曲のバリトン・トリオ全曲演奏プロジェクト「ニコラウスの館」を年2回のペースで開催している。

坂本 龍右
(バリトン)

Ryusuke Sakamoto

奈良県出身。東京大学文学部卒業。2008年にスイスのバーゼル・スコラ・カントルムに留学、リュート等の撥弦楽器をH.スミス氏に、ルネサンス期のヴィオラ・ダ・ガンバをR.クック氏に師事。その後バリトンの演奏指導をC.コワン氏に受ける。2011年優秀賞付きで同校の修士課程を修了、同年イタリアのラクィアで行われた国際古楽コンクールで第1位並びに聴衆賞。ルネサンス・リュートによるソロCD「Travels with my Lute」（英グラモフォン誌推薦盤）「Polyphony and Diminution」（レコード芸術準特選）他録音多数。自身が結成した「Il bell'humore」の他、「Queen's Revels」「Delight in Disorder」「Sestina Consort」等のアンサンブルに参加。2017年には「コンティヌオ・ギルド（通奏低音組合）」を日本国内で立ち上げるなど、日欧の双方で活動。

朝吹 園子
(ヴィオラ)

Sonoko Asabuki

東京都出身。東京藝術大学院修士課程修了。同声会賞受賞。明治安田生命より奨学金を、文化庁在外派遣研修員としてフライブルク音大、バーゼル・スコラ・カントルム（バロックヴァイオリン科）で学び、最優秀の成績で卒業。2011年デン・ハーグピアノ五重奏団のメンバーとしてオランダ、ファン・ワセナル国際古楽コンクールで第1位を寿聡。ラ・チェトラのメンバーとしてバーゼル歌劇場のバロックオペラに度々出演、バッハ財団オーケストラ、カプリコルヌス・コンソート・バーゼル、バッハ・コレギウム・ジャパン等多くのオーケストラやアンサンブルの一員として演奏、CD録音などの活動をしている。イル・プロフォンドのメンバーで、CD「初期ドイツ音楽 absortest」がドイツレコード評賞にて推薦盤。

菅間 周子

(ウィーン式コントラバス)

Shuko Sugama

複数の楽器を経てコントラバスを手にする。青山学院大学を経て、東京藝術大学を卒業後、2009年よりバーゼル・スコラ・カントルムに留学。D.シンクレア氏の指導のもと、歴史的奏法のほか、18世紀のウィーン式五弦コントラバス、イタリア起源の三弦コントラバス、六弦のG調弦ヴィオローネについて研究と発表を積極的に行う。室内管弦楽団I Tempi首席奏者、バロックアンサンブルI Pizzicanti、古楽オーケストラCapriccio Barockorchester。バッハ財団オーケストラ、バーゼル室内管弦楽団、台湾の古楽オーケストラFormosa Baroqueなどのメンバーとして活動中。Gヴィオローネ奏者として参加するConcerto Ripiglianoとして2017年国際ビーバーコンクール優勝。

【お客様へのお願い】

発熱など、体調に不安のある方はご来場をお控えください。

来館時、お手洗い使用後の手洗いや消毒にご協力ください。

館内ではマスクを着用してください。

開場時、お手洗い利用時の整列では間を空けてお並びください。

スタッフの勤務方法と共に、この他にも各感染予防対策を実施いたします。詳しくは、ホームページ[www://munetsughall.com](http://munetsughall.com)をご覧ください。

■地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中央区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL www.munetsughall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間：10:00～16:00 不定休